

## 集会宣言文

球磨川豪雨災害の発生から3年が経過しました。瀬戸石ダムを管理運営する電源開発は撤去を求める流域住民の声を無視して、昨年ダムの発電を再開しました。

私たちは、豪雨災害発生当初は、瀬戸石ダムが被害を拡大したと考えていました。その後、住民の証言や私たちの調査結果から明らかになったことは、瀬戸石ダムが被害の原因そのものであるということです。瀬戸石ダムが無ければ、ダムの上流も下流もあのような被害は発生しなかったと思われます。瀬戸石ダムが被害を拡大したのではなく、正しく瀬戸石ダムが被害を引き起こしたということです。こんな危険なダムはいりません。

またダムの完成から65年経過しましたが、ダムは水害の原因となるばかりでなく、半世紀以上、川や海の環境にも多大なる悪影響を与え続けてきました。

瀬戸石ダムがある限り、流域には安全も安心も川や海の恵みも望めません。百害あって一利なし。災いしかもたらさないダムなど、撤去するしかありません。

私たちは、総力を結集し一丸となって、瀬戸石ダムの撤去を実現するまで、とことん闘い続けていくことをここに宣言します。

2023年11月4日 瀬戸石ダム撤去を求める住民決起集会

「災害をひきおこす瀬戸石ダムはいらん！」参加者一同